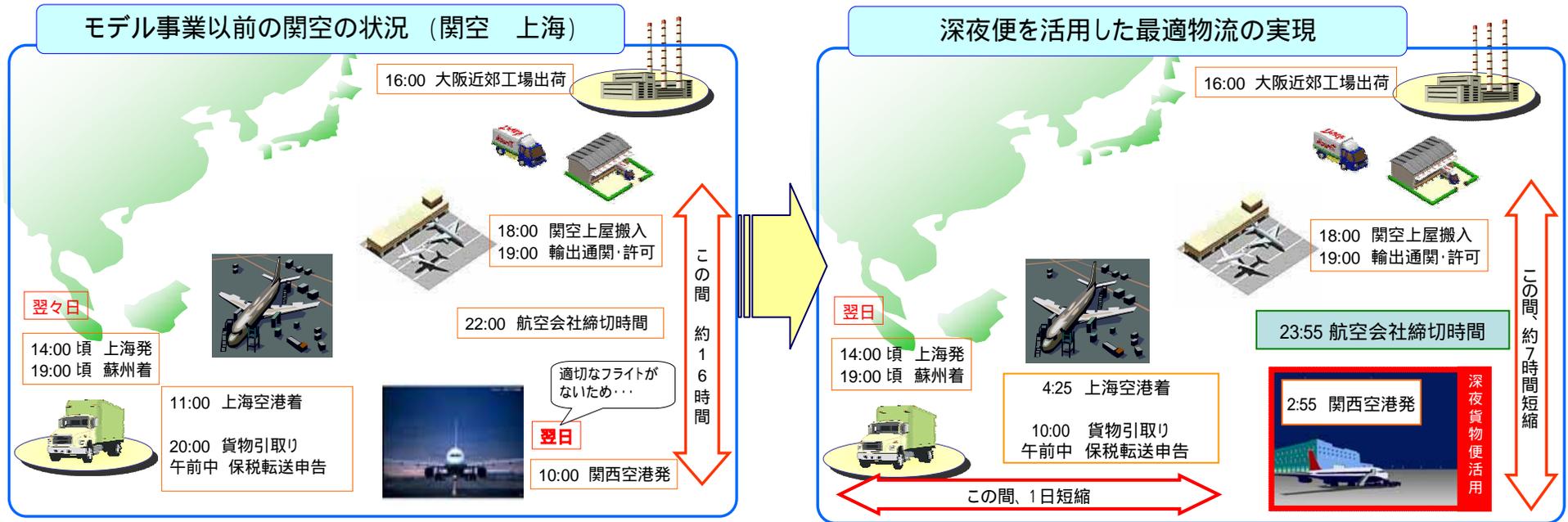


関空における深夜貨物便を活用した国際物流効率化モデル事業



リードタイムはモデルイメージです

リードタイムはモデルイメージです

深夜に貨物便を運航させることにより、航空貨物の不必要な滞留時間を削減することができる。通関・ハンドリングなど現地の事情に適合した最適な相手国の着陸時間に対応することが可能。

2006年8月から週3便の貨物便でスタート

好評であったため、2006年冬期スケジュールから平日は毎日運航(6便)。モデル事業終了後、2007年夏期スケジュールにおいても運航が継続。

高度化・多様化する物流ニーズに対し、深夜貨物便が非常に有効であることが証明！